令和五年度　社会人入学試験（A日程）小論文

徳山看護専門学校

受験番号

氏　　名

得　　点

近代看護の確立に大きな役割を果たしたフローレンス・ナイチンゲールは、看護について次のような言葉を残しています。

「新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさなどを適切に整え、これらを生かして用いること、また、食事内容を適切に選択し適切に与えること・・・。」

これは、健康人のためのよい環境づくりとまったく変わりません。彼女は、健康の法則と看護の法則は同一のものだと考えていました。

また、川嶋みどり著「看護の力（岩波新書）二〇二一年七月発行」の序文に次のような記述があります。

「これまで多くの人々の目に映って来た看護師といえば、白衣姿で血圧を測ったり採血をするなど、どちらかといえば、医療的な行為を行い、医師の手助けをするのに忙しく働く姿ではないかと思います。しかしこれは、看護師の仕事の一面にしかすぎません。本来の看護の仕事は、人間誰もが持っている、自然に治る力を引き出すことにあるのです。」

そして、「看護師はどこまでも看護師であり、医師でもなければ助手でもありません。医業の一端を担う専門職なのです。」と説いていきます。

現在、医療は、人類の永遠の希望のなか驚きの進化を見せ、また、医用電子光学機器が普及し、医師や看護師等が協力して高度医療に当たる姿が一般的になりました。看護の場面では、例えばモニタリングにより患者に触れることなく、別室からでも異常の発見ができるようにまでなりました。機器は人間よりも精密な観察をしてくれています。

しかし、それでも、看護に当たる人々は、今もナイチンゲールの言葉を重く語り継ぎます。

川嶋みどり著「看護の力」のような看護の心と技を説く本も読み継がれています。

あなたは、このことをどう受け止めますか。本来の看護師とは何をする人かに視点を当ててあなたの考えを書いてください。

原稿用紙の書き方の決まりに従い、段落を適切にとり、分かりやすい文章であることを心掛け、六〇〇字以内でまとめてください

（二五字×二四行）